



飛驒神岡高校は20年近く前から神岡町内の保育園や小・中学校と連携事業を実施してきました。保育園とは部活動単位でのほか、現在も年に数回定期的に家庭科の選択科目の中で交流を実施しています。小学校へは文芸部やロボット部、吹奏楽部が出前授業や演奏会を行ってきました。新型コロナウイルスの影響で今年度3年ぶりに実施した連携中学校3年生との中高部活動交流も、岐阜県教育委員会による神岡中ならびに山之村中との連携型中高一貫校の指定を受け

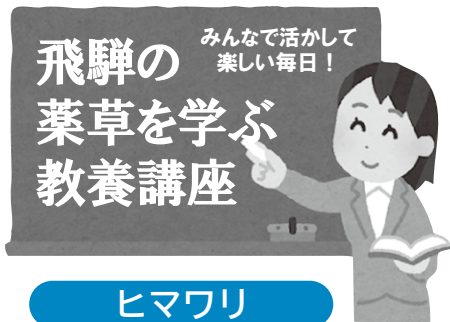
る以前の平成16年度から実施しているものです。また、高等学校が地域の知の拠点となり得るとの考えから、一般の方を対象とした「親子で学ぶ3Dモデリング講座」や中学校の技術家庭の先生方を対象とした「マイコンプログラミング教室」などを行った実績もあります。これらは、その事業の直接的な目的や目標の達成のためだけでなく、少子化や核家族化が進んだ今日において、子どもから大人まで年齢を超えた交流や、市民が地域で学ぶことの意義を認識して行ってきたもので、飛驒市学園構想の理念と一致しています。

本年度すでに行った事業としては、前述の部活動交流や双葉保育園との交流の他、宮川小学校の全校児童が本校へ来校して行った、ロボット部員による「ロボット教室」、文芸部員による神岡小学校5年生対象の「俳句出前授業」、連携

中学校2年生対象の「高校の授業体験」があります。今後予定されているものは、連携中学1年生の本校の文化祭見学や、硬式野球部による園児もしくは小学校低学年対象の「野球講座」等です。その他、これまでも継続して行っているものですが、ビジネス会計系列による「地域のお店のポスター」の製作や、文理2系列のフードデザイン選択者による飛驒市にちなんだ料理やスイーツのレシピの提案など、地域を学習のフィールドと捉え、学習や部活動の中で培った技術や技能を使い地域の課題解決や貢献ができるような事業も計画しています。



問 学校教育課 ☎0577-73-7494



暑い時期にイメージする花といえはヒマワリのグングンと伸びるイメージや、ヒマワリ畑が浮かびます。そんなヒマワリも実は薬草です。驚きですね。

ヒマワリは花を咲かせた後にタネができますが、タネがびっしり詰まったところにもヒマワリの生命力を感じさせます。これをぜひ食べてみましょう。ハムスターなどの小動物や小鳥のエサのイメージが強いですが、最近はナッツの一種として販売されています。なかなかヒマワリ

の種だけ単品でというのは見ないですが、とあるコンビニのミックスナッツ商品の中には入っていました。

自分の家で育てたヒマワリがあるなら、ぜひ取れた種はミネラルの多い塩を加えてフライパンで炒って中身を食べてみましょう。シマシマのような殻は食べないようにしましょう。食べるととても美味しく、夏の疲れを癒してくれるだけでなく、血液を綺麗にし、肥満防止にも効果があります。また、ヒマワリの種はリノール酸など良質な油分が豊富なので、絞ってひまわり油として料理などに使うと動脈硬化に効果があります。

種を炒って食べる、あるいは煎じて飲むと利尿、去痰、咳、風邪、頭痛、腎臓病などに効果があります。花や葉を煎じて飲んでも健胃、風邪、解熱、高血圧やリウマチなどに

効果があります。驚きですね。また、ヒマワリの花びらで作ったアルコールチンキは風味がいいので、解熱剤として重宝します。

こうしてみると、ヒマワリは大変多くの効能や豊富な栄養があることがわかります。

これまでは見て楽しいでしたが、これからは食べて美味しく健康、の部分も加わりますね。



効能	利尿、腎臓病、咳、頭痛、高血圧など
採取先	畑、スーパー、量販店など

問 まちづくり観光課 ☎0577-73-7463